<ul> <li>(a) 沿岸国が、航行、上空飛行者しくは権利を行使しくは(1)に規定する利用を行うに当たり、この条約の規定の適用に係る制限及び違底パイプラインの敷設の自由者しくは権利又は第</li> <li>2 1の裁判所は、単該載判が最終的なものであること及び裁判の拘束力</li> <li>2 1の裁判所は、単該載当事者が1の規定により裁判所に行う裁判所に決定を行う権利に影響を 定める。</li> <li>3 この条約の解釈又は適用に関する紛争国間の紛争は、国内的な救済措置を尽くすことができる合理的な期間 を定める。</li> <li>4 この節の規定に基づいて管轄権を有する裁判所に行う裁判所に従って先決的抗舟を行う権利に影響を 第二百九十五条 裁判が最終的なものであること及び裁判の拘束力</li> <li>1 この節の規定に基づいて管轄権を有する裁判所が行う裁判所に定める手続に付することができる合理的な期間 がしている場合には、当該救済措置が尽くすこと</li> <li>2 1の裁判所は、当該権利の主張が法的手続の産用であるか否か又は当該権利の主張が法的手続の産用であるの 第二百九十七条 数判が最終的なものであること及び裁判の拘束力を有する。</li> <li>3 沿岸国が、航行、上空飛行者しくは違底電線及び違底パイプラインの敷設の自由者しくは権利又は第 第二百九十七条 第二節の規定の適用に扱いで、かつ、当該紛争に関してのみ拘束力を有する。</li> <li>6) 沿岸国が、航行、上空飛行者しくは違底電線及び違底パイプラインの敷設の自由者しくは権利又は第 している場合</li> <li>4) 沿岸国が、航行、上空飛行者しくは違底電線及び違底パイプラインの敷設の自由者しくは権利又は第 第二百九十七条 第二節の規定の適用に扱いで、かつ、当該紛争に関してのみ拘束力を有する。</li> <li>4) 沿岸国が、航行、上空飛行者しくは違底電線及び違法の利用について、この条約の規定に違反して行動した と主張されている場合</li> <li>5) 第二百九十七条 第二節の規定の適用の制度</li> <li>5) 第二百九十七条 第二節の規定の適用の制度</li> <li>5) 第二百九十七条 第二節の規定の適用の利用に行う裁判に行う取り指定のの手続の産用であるか否か又は当該権利の主張が法的手続の産用であるか否か及びは当該権利の主張されている場合には、第二節に定める手続に付することができる 第二百九十七条 第二節の規定の適用の利用の一次の次対応の利用を行うしてのみ拘束力を行う権利に影響を 第二百九十七条 第二節の規定の適用の利用のであること及び裁判の拘束力を行う権利に認定して のより、1000条件であるのであること及び裁判の拘束力を行う権利用を行う権利に影響を 第二百九十七条 第二節の規定の適用の利用の</li> <li>5) 第二百九十七条 第二節の規定の適用の利用の</li> <li>5) 第二百九十七条 第二節の規定の適用の利用の</li> <li>5) 第二百九十七条 第二節の規定の通用の利用の</li> <li>5) 第二百九十七条 第二節の規定の通用の</li> <li>5) 第二百九十七条 第二節の規定の通用の利用の</li> <li>5) 第二方式の規定の通用の</li> <li>5) 第二方式の規定の通用の</li> <li>6) 沿岸市るの</li> <li>7) 第二方式の規定の通用の</li> <li>7) 第二方式の場合には、第二方式のの</li> <li>7) 第二方式の規定の</li> <li>7) 第二方式の規定の</li> <li>7) 第二方式の規定の</li> <li>7) 第二方式の規定の</li> <li>7) 第二方式の場合の</li> <li>7) 第二方式の</li>     &lt;</ul>		用規第 の定二 制の節 限適の	 束 裁 こ 力 判 の 及 び	の終裁 で的なも る		こ を 救 済 措 固 内 す 置 な		 		帮
	国が、(a)に規定する 五十八条に規定する場合の時代の場合の時代の場合の時代の場合の時代の場合の時代の場合の時代の時代の時代の時代の時代の時代の時代の時代の時代の時代の時代の時代の時代の	る行使に係るものは、次のいずれかの場合には、築この条約の解釈又は適用に関する紛争であって、	 1の裁判は、紛争当事者間において、かつ、	は、これに従う。	裁判が最終的なものであること及び裁判の	ている場合には、当該救済措置が尽くされた後でなければこの節に定める手続に付することがで条約の解釈又は適用に関する締約国間の紛争は、国内的な救済措置を尽くすことが国際法によっ	及ぼすものではない。この条のいかなる規定も、紛争当事者が、	1の裁判所は、	がは、	張に十分な根拠があると推定されるか否かについて、いずれかの紛争当事者が要請するときに決定するも場合には、当該裁判所は、当該申立てによる権利の主張が法的手続の濫用であるか否か又は当該権利の主

determine at the request of a party, or may determine <u>proprio</u> motu, whether the claim constitutes an abuse of legal process or whether <u>prima facie</u> it is well founded. If the court or tribunal determines that the claim constitutes an abuse of legal process or is <u>prima facie</u> unfounded, it shall take no further action in the case.

2. Upon receipt of the application, the court or tribunal shall immediately notify the other party or parties of the application, and shall fix a reasonable time-limit within which they may request it to make a determination in accordance with paragraph 1.

to make preliminary objections in accordance with the applicable rules of procedure. 3. Nothing in this article affects the right of any party to a dispute

## Article 295 Exhaustion of local remedies

Any dispute between States Parties concerning the interpretation or application of this Convention may be submitted to the procedures provided for in this section only after local remedies have been exhausted where this is required by international law.

### Finality and binding force of decisions Article 296

Any decision rendered by a court or tribunal having jurisdiction under this section shall be final and shall be complied with by all the parties to the dispute.

parties and in respect of that particular dispute. 2. Any such decision shall have no binding force except between the

SECTION 3. LIMITATIONS AND EXCEPTIONS TO APPLICABILITY OF SECTION 2

# Article 297 Limitations on applicability of section 2

procedures provided for in section 2 in the following cases: Convention with regard to the exercise by a coastal State of its sovereign rights or jurisdiction provided for in this Convention shall be subject to the 1. Disputes concerning the interpretation or application of this

- (a) when it is alleged that a coastal State has acted in contravention of the provisions of this Convention in regard to the freedoms and rights of navigation, overflight or the laying of submarine cables and pipelines, or in regard to other internationally lawful uses of the sea specified in article  $58_3$
- g when it is alleged that a State in exercising the aforementioned

1-100

国連海洋法条約

国連海洋法条約

違反して行動したと主張されている場合 定に違反して又はこの条約及びこの条約に反しない国際法の他の規則に従って沿岸国の制定する法令に

- (c) あって、この条約によって定められ又はこの条約に従って権限のある国際機関若しくは外交会議を通じ て定められたものに違反して行動したと主張されている場合 沿岸国が、当該沿岸国に適用のある海洋環境の保護及び保全のための特定の国際的な規則及び基準で
- 2(a) この条約の解釈又は適用に関する紛争であって、海洋の科学的調査に係るものについては、第二節の による解決のための手続に付することを受け入れる義務を負うものではない 規定に従って解決する。ただし、沿岸国は、次の事項から生ずるいかなる紛争についても、同節の規定
- (i) 第二百四十六条の規定に基づく沿岸国の権利又は裁量の行使
- (ii) 第二百五十三条の規定に基づく海洋の科学的調査の活動の停止又は終了を命ずる沿岸国の決定
- (b) 基づいて同意を与えない沿岸国の裁量の行使については取り扱わない 二百五十三条の規定に基づく権利を行使していないと調査を実施する国が主張することによって生ずる 委員会は、第二百四十六条6に規定する特定の区域を指定する沿岸国の裁量の行使又は同条5の規定に 紛争は、いずれかの紛争当事者の要請により、 海洋の科学的調査に係る特定の計画に関し沿岸国がこの条約に合致する方法で第二百四十六条又は第 附属書Ⅴ第二節に定める調停に付される。ただし、調停
- **3**(a) この条約の解釈又は適用に関する紛争であって、漁獲に係るものについては、第二節の規定に従って Ł 量 自国の法令に定める条件を決定するための裁量権を含む。)又はその行使に係るいかなる紛争について 解決する。ただし、沿岸国は、排他的経済水域における生物資源に関する自国の主権的権利(漁獲可能 漁獲能力及び他の国に対する余剰分の割当てを決定するための裁量権並びに保存及び管理に関する 同節の規定による解決のための手続に付することを受け入れる義務を負うものではない
- (b) は、 第 いずれかの紛争当事者の要請により、附属書V第二節に定める調停に付される | 節の規定によって解決が得られなかった場合において、次のことが主張されているときは、 紛争
- (i) 沿岸国が、自国の排他的経済水域における生物資源の維持が著しく脅かされないことを適当な保存

措置及び管理措置を通じて確保する義務を明らかに遵守しなかったこと。

law not incompatible with this Convention; or in conformity with this Convention and other rules of international Convention or of laws or regulations adopted by the coastal State freedoms, rights or uses has acted in contravention of this

- Ô of specified international rules and standards for the protection and preservation of the marine environment which are applicable to diplomatic conference in accordance with this Convention. the coastal State and which have been established by this Convention or through a competent international organization or when it is alleged that a coastal State has acted in contravention
- 2 (a) such the coastal State shall not be obliged to accept the submission to research shall be settled in accordance with section 2, except that provisions of this Convention with regard to marine scientific settlement of any dispute arising out of: Disputes concerning the interpretation or application of the
- Ξ the exercise by the coastal State of a right or discretion in accordance with article 246; or
- 11 a decision by the coastal State to order suspension or cessation of a research project in accordance with article 253
- Ē exercising its rights under articles 246 and 253 in a manner compatible with this Convention shall be submitted, at the request paragraph specific areas as referred to in article 246, paragraph 6, or of exercise by the coastal State of its discretion to designate that the conciliation commission shall not call in question the of either party, to conciliation under Annex V, section 2, provided that with respect to a specific project the coastal State is not its discretion to withhold consent in accordance with article 246, A dispute arising from an allegation by the researching State
- Ψ a (a) Disputes concerning the interpretation or application of the provisions of this Convention with regard to fisheries shall be settled in accordance with section 2, except that the coastal State shall not be obliged to accept the submission to such settlement of catch, its harvesting capacity, the allocation of surpluses to any dispute relating to its sovereign rights with respect to the conservation and management laws and regulations. other States and the terms and conditions established in its including its discretionary powers for determining the allowable living resources in the exclusive economic zone or their exercise.
- g Where no settlement has been reached by recourse to section of this Part, a dispute shall be submitted to conciliation under Annex V, section 2, at the request of any party to the dispute, when it is alleged that:
- Ξ a coastal State has manifestly failed to comply with its endangered resources in the exclusive economic zone is not seriously management measures that the maintenance of the living obligations to ensure through proper conservation and

国連海洋法条約

- ず、漁獲可能量及び生物資源についての自国の漁獲能力を決定することを恣意的に拒否したこと。(⑪)沿岸国が、他の国が漁獲を行うことに関心を有する資源について、当該他の国の要請にもかかわら
- り当てることを恣意的に拒否したこと。

  り当てることを恣意的に拒否したこと。

  が一治岸国が、自国が存在すると宣言した余剰分の全部又は一部を、第六十二条、第六十九条及び第七
- (c) 調停委員会は、いかなる場合にも、調停委員会の裁量を沿岸国の裁量に代わるものとしない
- (d) 調停委員会の報告については、適当な国際機関に送付する。
- する条項及び当該措置にもかかわらず意見の相違が生じた場合に当該締約国がとるべき手続に関する条り、当該協定の解釈又は適用に係る意見の相違の可能性を最小にするために当該締約国がとる措置に関(e) 第六十九条及び第七十条の規定により協定を交渉するに当たって、締約国は、別段の合意をしない限

第二百九十八条 第二節の規定の適用からの選択的除処

項を当該協定に含める

できる。 「第一節の規定に従って生ずる義務に影響を及ぼすことなく、いずれの国も、この条約に署名し、これを

外選用規第 択か定二 的らの節 除の適の

- (a)(1) 海洋の境界画定に関する第十五条、第七十四条及び第八十三条の規定の解釈若しくは歴史的権利に関する紛争。ただし、宣言を行った国は、このような紛争ない場合には、いずれかの紛争当事者の要請により、この問題を附属書V第二節に定める調停に付すない場合には、いずれかの紛争当事者の要請により、この問題を附属書V第二節に定める調停に付することを受け入れる。もっとも、大陸又は島の領土に対する主権その他の権利に関する未解決の紛争がこの未知の効力発生の後に生じ、かつ、紛争当事者間の交渉によって合理的な期間内に合意が得られない場合には、またの規定の解釈若しくは適用に関する
- 合意をしない限り、この問題を第二節に定める手続のうちいずれかの手続に相互の同意によって付す基づき合意の達成のために交渉する。交渉によって合意に達しない場合には、紛争当事者は、別段の(⑪) 調停委員会が報告(その基礎となる理由を付したもの)を提出した後、紛争当事者は、当該報告に

る

- (ii) a coastal State has arbitrarily refused to determine, at the request of another State, the allowable catch and its capacity to harvest living resources with respect to stocks which that other State is interested in fishing; or
- (iii) a coastal State has arbitrarily refused to allocate to any State, under articles 62, 69 and 70 and under the terms and conditions established by the coastal State consistent with this Convention, the whole or part of the surplus it has declared to exist.
- (C) In no case shall the conciliation commission substitute its discretion for that of the coastal State.
- The report of the conciliation commission shall be communicated to the appropriate international organizations.

â

(e) In negotiating agreements pursuant to articles 69 and 70. States Parties, unless they otherwise agree, shall include a clause on measures which they shall take in order to minimize the possibility of a disagreement concerning the interpretation or application of the agreement, and on how they should proceed if a disagreement nevertheless arises.

### <u>Article 298</u> Optional exceptions to applicability of section 2

 When signing, ratifying or acceding to this Convention or at any time thereafter, a State may, without prejudice to the obligations arising under section 1, declare in writing that it does not accept any one or more of the procedures provided for in section 2 with respect to one or more of the following categories of disputes:

- (a) (1) disputes concerning the interpretation or application of articles 15, 74 and 83 relating to sea boundary delimitations, or those involving historic bays or titles, provided that a dispute arises subsequent to the entry into force of this Convention and where no agreement within a reasonable period of time is reached in negotiations between the parties, at the request of any party to the dispute, accept submission of the matter to consiliation under Annex V, section 21 and provided further that any dispute that necessarily involves the concurrent consideration of any unsettled dispute concerning sovereignty or other rights over continental or insular land territory shall be excluded from such submission;
- (ii) after the conciliation commission has presented its report, which shall state the reasons on which it is based, the parties shall negotiate an agreement on the basis of that report if these negotiations do not result in an agreement, the parties shall, by mutual consent, submit the question to one of the procedures provided for in section 2, unless the parties otherwise agree;

(i i i) ているものについては、適用しない れているもの又は紛争当事者を拘束する二国間若しくは多数国間の協定によって解決することとされ この回の規定は、海洋の境界に係る紛争であって、紛争当事者間の取決めによって最終的に解決さ

- (ь) 的権利又は管轄権の行使に係るものに関する紛争 争並びに法の執行活動であって前条の2及び3の規定により裁判所の管轄権の範囲から除外される主権 軍事的活動(非商業的役務に従事する政府の船舶及び航空機による軍事的活動を含む。)に関する紛
- 2 (c) 1の規定に基づく宣言を行った締約国は、いつでも、当該宣言を撤回することができ、又は当該宣言に に対し当該紛争をこの条約に定める手段によって解決するよう要請する場合は、この限りでない。 当該紛争。ただし、同理事会が、当該紛争をその審議事項としないことを決定する場合又は紛争当事者 国際連合安全保障理事会が国際連合憲章によって与えられた任務を紛争について遂行している場合の
- 3 できない 当事者とするものを、当該他の締約国の同意なしには、この条約に定めるいずれの手続にも付することが 1の規定に基づく宣言を行った締約国は、除外された種類の紛争に該当する紛争であって他の締約国を

よって除外された紛争をこの条約に定める手続に付することに同意することができる

- 4 ことができる 紛争であって当該宣言を行った締約国を当事者とするものを、当該宣言において特定される手続に付する 締約国が1(a)の規定に基づく宣言を行った場合には、他の締約国は、除外された種類の紛争に該当する
- 5 いて進行中の手続に何ら影響を及ぼすものではない。 新たな宣言又は宣言の撤回は、紛争当事者が別段の合意をしない限り、この条の規定により裁判所にお
- 6 同事務総長は、その写しを締約国に送付する。 この条の規定に基づく宣言及び宣言の撤回の通告については、国際連合事務総長に寄託するものとし、

第二百九十九条 紛争当事者が手続について合意する権利

- 権合に者紛 利意つが争 すい手当 るて続事 1 て行われた宣言により当該手続から除外された紛争については、当該紛争の当事者間の合意によっての 第二百九十七条の規定により第二節に定める紛争解決手続から除外された紛争又は前条の規定に基づい
  - み、 当該手続に付することができる。
- 2~この節のいかなる規定も、紛争当事者が紛争の解決のための他の手続について合意する権利又は紛争当

事者が紛争の友好的な解決を図る権利を害するものではない

- (111) bilateral or multilateral agreement binding upon those parties this subparagraph does not apply to any sea boundary dispute finally settled by an arrangement between the parties, or to any such dispute which is to be settled in accordance with a
- Ē disputes concerning military activities, including military non-commercial service, and disputes concerning law enforcement under article 297, paragraph 2 or 3; jurisdiction excluded from the jurisdiction of a court or tribunal activities in regard to the exercise of sovereign rights or activities by government vessels and aircraft engaged in
- <u>@</u> disputes in respect of which the Security Council of the United remove the matter from its agenda or calls upon the parties to of the United Nations, unless the Security Council decides to Nations is exercising the functions assigned to it by the Charter settle it by the means provided for in this Convention.

declaration to any procedure specified in this Convention. any time withdraw it, or agree to submit a dispute excluded by such . A State Party which has made a declaration under paragraph 1 may at

without the consent of that party. not be entitled to submit any dispute falling within the excepted category of disputes to any procedure in this Convention as against another State Party, ۳ A State Party which has made a declaration under paragraph 1 shall

paragraph 1(a), any other State Party may submit any dispute falling within an excepted category against the declarant party to the procedure specified in such declaration. ٩. If one of the States Parties has made a declaration under

any way affect proceedings pending before a court or tribunal in accordance with this article, unless the parties otherwise agree. 5. A new declaration, or the withdrawal of a declaration, does not in

6. Declarations and notices of withdrawal of declarations under this article shall be deposited with the Secretary-General of the United Nations, who shall transmit copies thereof to the Stats Parties.

### Right of the parties to agree upon a procedure Article 299

A dispute excluded under article 297 or excepted by a declaration made under article 298 from the dispute setlement procedures provided for in section 2 may be submitted to such procedures only by agreement of the parties to the dispute.

to reach an amicable settlement. Nothing in this section impairs the right of the parties to the dispute to agree to some other procedure for the settlement of such dispute such dispute or

中 中 中 か た 考 中 に お 大 た 考 し の た め た 参 見 し 、 本 は 、 し に 見 た め に 同 条 に 規 見 立 っ た め に 周 条 に 規 見 立 っ た め に 周 条 に 規 見 立 っ た め に 島 た ち る 通 尾 し 、 し に 記 た め に 島 た め に 島 た ち ら さ の 、 か か な る 相 し 、 し に あ た め た め に あ た め た め た め た め た め た あ に あ た ち る ろ 本 た ち ろ ろ ろ た ち ろ ろ ろ ろ た ち ろ ろ ろ ろ た ち ろ ろ ろ た ち ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ		和的利用を、いかなる国の海洋の平稀約国は、この第三百一	の濫用  管轄権及び自由を  の濫用  第三百条	第十六部一
第三百四条 損害についての責任 第三百四条 損害についての責任	第三百三条(海洋において発見された考古学上の物及び歴史的な物この規定は、この条約に定める紛争解決手続に付する締約国の権利を害するものではない。の安全保障上の重大な利益に反する情報の提供を当該締約国に要求するものと解してはならない。ただし、第三百二条(情報の開示	と両立しない他のいかなる方法によるものも慎まなければならない。を、いかなる国の領土保全又は政治的独立に対するものも、また、国際連合憲章に規定する国際法の諸原則称約国は、この条約に基づく権利を行使し及び義務を履行するに当たり、武力による威嚇又は武力の行使第三百一条 海洋の平和的利用	* 権条 利約 信	一般規定

国連海洋法条約

PART XVI

GENERAL PROVISIONS

## Article 300 Good faith and abuse of rights

States Parties shall fulfil in good faith the obligations assumed under this Convention and shall exercise the rights, jurisdiction and freedoms recognized in this Convention in a manner which would not constitute an abuse of right.

### Article 301 Peaceful uses of the seas

In exercising their rights and performing their duties under this Convention, States Parties shall refrain from any threat or use of force against the territorial integrity or political independence of any State, or in any other manner inconsistent with the principles of international law embodied in the Charter of the United Nations.

### Article 302 Disclosure of information

Without prejudice to the right of a State Party to resort to the procedures for the settlement of disputes provided for in this Convention, nothing in this Convention shall be deemed to require a State Party, in the fulfilment of its obligations under this Convention, to supply information the disclosure of which is contrary to the essential interests of its security.

Article 303 Archaeological and historical objects found at sea

States have the duty to protect objects of an archaeological and historical nature found at sea and shall co-operate for this purpose.

In applying article 3, presume that their removal from the sea-bed in the zone referred to in that article without its approval would result in an infringement within its territory or territorial sea of the laws and 2 In order to control traffic in such objects, the coastal State may,

the law of salvage or other rules of admiralty, or laws and practices with respect to cultural exchanges. regulations referred to in that article. Nothing in this article affects the rights of identifiable owners,

This article is without prejudice to other international agreements and rules of international law regarding the protection of objects of an

archaeological and historical nature.

Article 304

Responsibility and liability for damage

in article confirmatic Nations.	准書及び正式確認書は、国際連合事務総長に寄託する。	
This entities re formal conf	た、同条1((に規定する主体により附属書区に定めるところにより正式確認が行われなければならない。批この条約は、国及び前条1の(b)から(e)までに規定するその他の主体によって批准されなければならず、ま	正式確認 び
	第三百六条 批准及び正式確認	
2. 1984 at th	一日から千九百八十四年十二月九日まではニュー・ヨークにある国際連合本部において、署名のために開2)この条約は、千九百八十四年十二月九日まではジャマイカ外務省において、また、千九百八十三年七月	
(£)	() 国際機関。ただし、附属書区の規定に従うものとする。	
	る事項に関する権限(これらの事項に関して条約を締結する権限を含む。)を有するすべてのもの	
	十四号(第十五回会期)に基づく完全な独立を達成していない地域であって、この条約により規律され	
(e)	@ 完全な内政上の自治権を有し、国際連合によりこれを認められているが、国際連合総会決議第千五百	
	事項に関する権限(これらの事項に関して条約を締結する権限を含む。)を有するすべてのもの	
(d)	<b>ゆ)他の国と提携している自治国であって、その提携のための文書に基づき、この条約により規律される</b>	
	800 ·	
	規律される事項に関する権限(これらの事項に関して条約を締結する権限を含む。)を有するすべての	
	て国際連合により監督され及び承認された自決の行為においてその地位を選び、かつ、この条約により	
(c)	() 他の国と提携している自治国であって、国際連合総会決議第千五百十四号(第十五回会期)に基づい	
(q)	()) 国際連合ナミビア理事会によって代表されるナミビア	
(a)	(a) すべての国	
	1 この条約は、次のものによる署名のために開放しておく。	署 名
	第三百五条署名	
	第十七部 最終規定	
The for damage developmen internatio	な規則の発展を妨げるものではない。この条約の損害についての責任に関する現行の規則の適用及び新た	任い 指 生 い て で っ む

The provisions of this Convention regarding responsibility and liability for damage are without prejudice to the application of existing rules and the development of further rules regarding responsibility and liability under international law.

PART XVII

FINAL PROVISIONS

Article 305 Signature

- This Convention shall be open for signature by:
- (a) all States;
- (b) Namibia, represented by the United Nations Council for Namibia;
- (c) all self-governing associated States which have chosen that status in an act of self-determination supervised and approved by the United Nations in accordance with General Assembly resolution 1514 (XV) and which have competence over the matters governed by this Convention, including the competence to enter into treaties in respect of those matters?
- (d) all self-governing associated States which, in accordance with their respective instruments of association, have competence over the matters governed by this Convention, including the competence to enter into treaties in respect of those matters;
- (e) all territories which enjoy full internal self-government, recognized as such by the United Nations, but have not attained full independence in accordance with General Assembly resolution 1514 (XV) and which have competence over the matters governed by this Convention, including the competence to enter into treaties in respect of those matters?
- f) international organizations, in accordance with Annex IX.

2. This Convention shall remain open for signature until 9 December 1964 at the Ministry of Foreign Affairs of Jamaica and also, from 1 July 1983 until 9 December 1964, at United Nations Headquarters in New York.

### Article 306 Ratification and formal confirmation

This Convention is subject to ratification by States and the other entities referred to in article 305, paragraph 1(b), (0), (d) and (e), and to formal confirmation, in accordance with Annex IX, by the entities referred to in article 305, paragraph 1(f). The instruments of ratification and of formal confirmation shall be deposited with the Secretary-General of the United Nations

声 宣 言 及 び	除留 外保 び		効 力 発 生	加 入
第三百十一条(他の条約及び国際協定との関係的効果では、「「「「」」の条約の活動では、この条約の法律除しない。ただし、このような宣言又は声明は、当該国に対するこの条約の適用において、この条約の法期に調和させることを目的として、用いられる文言及び名称のいかんを問わず、宣言又は声明を行うことを約に調和させることを目的として、用いられる文言及び名称のいかんを問わず、宣言又は声明を行うことを前条の規定は、この条約の署名若しくは批准又はこれへの加入の際に、国が、特に当該国の法令をこの条	第三百十条(宣言及び声明も、また、除外を設けることもできない。この条約については、他の条の規定により明示的に認められている場合を除くほか、留保を付すること	第三百九条 留保及び除外 第三百九条 留保及び除外	こ 定書 十	<b>第三百七条 加入</b> 第三百七条 加入 第三百七条 加入 第三百七条 加入

| 二 0 六

国連海洋法条約

Article 307 Accession

entities referred to in article 305. Accession by the entities referred to in article 305, paragraph 1(f), shall be in accordance with Annex IX. The instruments of accession shall be deposited with the Secretary-General of the United Nations. This Convention shall remain open for accession by States and the other

### Article 308 Entry into force

This Convention shall enter into force 12 months after the date of deposit of the sixtieth instrument of ratification or accession.

2. For each State ratifying or acceeding to this Convention after the deposit of the sixtleth instrument of ratification or accession, the Convention shall enter into force on the thirtleth day following the deposit of its instrument of ratification or accession, subject to paragraph 1.

article 161 if the provisions of that article cannot be strictly applied. first Council shall be constituted in a manner consistent with the purpose of force of this Convention and shall elect the Council of the Authority. The ۳ The Assembly of the Authority shall meet on the date of entry into

4. The rules, regulations and procedures drafted by the Preparatory Commission shall apply provisionally pending their formal adoption by the Authority in accordance with Part XI.

5. The Authority and its organs shall act in accordance with resolution II of the Third United Nations Conference on the Law of the Sea relating to preparatory investment and with decisions of the Preparatory Commission taken pursuant to that resolution.

Article 309 Reservations and exceptions

No reservations or exceptions may be made to this Convention unless expressly permitted by other articles of this Convention.

Article 310 Declarations and statements

Article 309 does not preclude a State, when signing, ratifying or acceding to this Convention, from making declarations or statements, however phrased or named, with a view, inter alia, to the harmonization of its laws and regulations with the provisions of this Convention, provided that such effect of the provisions of this Convention in their application to that State. declarations or statements do not purport to exclude or to modify the legal

Article 311

Relation to other conventions and international agreements

関協		
係定		
	国	
0)	際	約

連合海洋法会議において用いられた決定手続と同一のものとする。改正に関する会議は、いかなる改正案2.改正に関する会議において用いられる決定手続は、この会議が別段の決定を行わない限り、第三次国際	
的な回答を行った場合には、当該会議を招集する。	
FSシモム、米を審議する会議	
よる通報により、この条約の特定の改正案で深海底における活動に関する改正以外のものを提案し及びそ	
1 締約国は、この条約の効力発生の日から十年の期間が満了した後は、国際連合事務総長にあてた書面に	
第三百十11条 改正	
いこと及びこの基本原則から逸脱するいかなる協定の締約国にもならないことを合意する。	
<b>6 締約国は、第百三十六条に規定する人類の共同の財産に関する基本原則についていかなる改正も行わな</b>	
5.この条の規定は、他の条の規定により明示的に認められている国際協定に影響を及ぼすものではない。	
当該協定を締結する意思及び当該協定によるこの条約の変更又は停止を通報する。	
4 3に規定する協定を締結する意思を有する締約国は、他の締約国に対し、この条約の寄託者を通じて、	
務を履行することに影響を及ぼすものであってはならない。	
条約に定める基本原則の適用に影響を及ぼし又は他の締約国がこの条約に基づく権利を享受し若しくは義	
がこの条約の趣旨及び目的の効果的な実現と両立しないものに関するものであってはならず、また、この	
する協定を締結することができる。ただし、そのような協定は、この条約の規定であってこれからの逸脱	
3 二以上の締約国は、当該締約国間の関係に適用される限りにおいて、この条約の運用を変更し又は停止	
ν.	
この条約に基づく権利を享受し又は義務を履行することに影響を及ぼさないものを変更するものではな	
2 この条約は、この条約と両立する他の協定の規定に基づく締約国の権利及び義務であって他の締約国が	
先する。	
1 この条約は、締約国間において、千九百五十八年四月二十九日の海洋法に関するジュネーヴ諸条約に優	

第三百十三条 簡易な手続による改正

めのあらゆる努力が尽くされるまでは、改正案について投票を行わない。

についても、コンセンサス方式により合意に達するようあらゆる努力を払うものとし、コンセンサスのた

Article 313

have been exhausted.

1. This Convention shall prevail, as between States Parties, over the Geneva Conventions on the Law of the Sea of 29 April 1958.

the performance of their obligations under this Convention. which do not affect the enjoyment by other States Parties of their rights or Parties which arise from other agreements compatible with this Convention and ۲. This Convention shall not alter the rights and obligations of States

of the object and purpose of this Convention, and provided further that such to the relations between them, provided that such agreements do not relate to a provision derogation from which is incompatible with the effective execution obligations under this Convention. by other States Parties of their rights or the performance of their suspending the operation of provisions of this Convention, applicable solely herein, and that the provisions of such agreements do not affect the enjoyment agreements shall not affect the application of the basic principles embodied 3. Two or more States Parties may conclude agreements modifying or

4. States Parties intending to conclude an agreement referred to in paragraph 3 shall notify the other States Parties through the depositary of this Convention of their intention to conclude the agreement and of the modification or suspension for which it provides.

permitted or preserved by other articles of this Convention. ŝ This article does not affect international agreements expressly

6. States Parties agree that there shall be no amendments to the basic principle relating to the common heritage of mankind set forth in article 136 and that they shall not be party to any agreement in derogation thereof.

#### Article 312 Amendment

States Parties. If, within 12 months from the date of the circulation of the to the request, the Secretary-General shall convene the conference. communication, not less than one half of the States Parties reply favourably amendments. The Secretary-General shall circulate such communication to all Area, and request the convening of a conference to consider such proposed addressed to the Secretary-General of the United Nations, propose specific force of this Convention, a State Party may, by written communication amendments to this Convention, other than those relating to activities in the 1. After the expiry of a period of 10 years from the date of entry into

consensus and there should be no voting on them until all efforts at consensus the Law of the Sea unless otherwise decided by the conference. should make every effort to reach agreement on any amendments by way of shall be the same as that applicable at the Third United Nations Conference on The decision-making procedure applicable at the amendment conference The conference

Amendment by simplified procedure

国連海洋法条約

| 二 0 七

正

力改 発正 生の 効	正並へ准名改 のびの、及正 正に加改びの 文改入正批署	定関動お深 のすのけ海 改るみる底 正規に活に	改 続 よ る 手
方の数の締約国による批准書又は加入書の寄託の後三十日目の日に、改正を批准し又はこれに加入する締1.この条約の改正で5に規定する改正以外のものは、締約国の三分の二又は六十の締約国のいずれか多い	2 第三百十六条 改正の効力発生 2 第三百六条、第三百七条及び第三百二十条の規定は、この条約のすべての改正について適用する。 ニュー・ヨークにある国際連合本部において、締約国による署名のために開放しておく。 1 この条約の改正は、採択された後は、改正自体に別段の定めがない限り、採択の日から十二箇月の間、	<ul> <li>2 1に規定する通報の送付の日から十二箇月の期間内にいずれかの締約国が改正案又は簡易な手続による改正案の採択の提案に反対した場合には、改正は、拒否されたものとする。国際連合事務総長は、その旨 を直ちにすべての締約国に通報する。</li> <li>3 1に規定する通報の送付の日から十二箇月の期間内にいずれの締約国も改正案又は簡易な手続による改正案の採択の提案に反対しなかった場合には、改正案は、採択されたものとする。国際連合事務総長は、改正案が採択された旨をすべての締約国に通報する。</li> <li>第三百十四条 深海底における活動のみに関する規定の改正</li> <li>1 締約国は、機構の事務局長にあてた書面による通報により、深海底における活動のみに関する規定(附属書V)第四節の規定を含む。)の改正案を提案することができる。事務局長は、当該通報をすべての締約国に送付する。改正案は、採択されたものとする。</li> <li>2 理事会及び総会は、1の規定に基づく改正案を承認するのに先立ち、第百五十五条の規定に基づく再検討のための会議までの間、深海底の資源の探査及び開発の制度が当該改正案によって妨げられないことを確保する。</li> <li>第三百十五条 改正の署名及び批准、改正への加入並びに改正の正文</li> </ul>	ることができる。同事務総長は、当該通報をすべての締約国に送付する。に関する改正以外のものを会議を招集することなくこの条に定める簡易な手続による採択のために提案す1 締約国は、国際連合事務総長にあてた書面による通報により、この条約の改正案で深海底における活動
a p	1: X S		0 0 e 0 v

 A State Party may, by written communication addressed to the Secretary-General of the United Nations, propose an amendment to this communication to all States Parties. convening a conference. The Secretary-General shall circulate the adopted by the simplified procedure set forth in this article without Convention, other than an amendment relating to activities in the Area, to be

States Parties accordingly. 2. If, within a period of 12 months from the date of the circulation of the communication, a State Party objects to the proposed amendment or to the proposal for its adoption by the simplified procedure, the amendment shall be considered rejected. The Secretary-General shall immediately notify all

that the proposed amendment has been adopted. considered adopted. The Secretary-General shall notify all States Parties its adoption by the simplified procedure, the proposed amendment shall be 3. If, 12 months from the date of the circulation of the communication, no State Party has objected to the proposed amendment or to the proposal for

## Amendments to the provisions of this Convention relating exclusively to activities in the Area Article 314

to all States Parties. The proposed amendment shall be subject to approval by the Assembly following its approval by the Council. Representatives of States Assembly shall be considered adopted. proposed amendment. The proposed amendment as approved by the Council and the Parties in those organs shall have full powers to consider and approve the Annex VI, section 4. The Secretary-General shall circulate such communication this Convention relating exclusively to activities in the Area, including Secretary-General of the Authority, propose an amendment to the provisions of A State Party may, by written communication addressed to the

 Before approving any amendment under paragraph 1, the Council and the Assembly shall ensure that it does not prejuice the system of exploration for and exploitation of the resources of the Area, pending the Review Conference in accordance with article 155.

#### Signature, ratification of, accession and authentic texts of amendments Article 315 accession to

 Once adopted, amendments to this Convention shall be open for signature by States Parties for 12 months from the date of adoption, at United Nations Headguarters in New York, unless otherwise provided in the amendment itself.

2. Articles 306, 307 and 320 apply to all amendments to this Convention.

#### Entry into force of amendments Article 316

۲ Amendments to this Convention, other than those referred to in

paragraph 5, shall enter into force for the States Parties ratifying or acceding to them on the thirtieth day following the deposit of instruments of

国連海洋法条約

	52.	3	F	50	2		<i>Ф</i>	z	1		z	6	*	5	 <u>+</u>	(a)	4		3	Ŀ	2		: 44
第三百十八条 附属書の地位	履行する責務に何ら影響を及ぼすものではない。	- 廃棄は、この条約に定める義務であってこの条約との関係を離れ国際法に基づいて負うものを締約国が	国の権利、義務及び法的状態に影響を及ぼすものではない。	除されない。廃棄は、この条約が当該国について効力を失う前にこの条約の実施によって生じていた当該	いずれの国も、廃棄を理由として、この条約の締約国であった間に生じた財政上及び契約上の義務を免	一年で効力を生ずる。	のではない。廃棄は、一層遅い日が通告に明記されている場合を除くほか、その通告が受領された日の後	るものとし、また、その理由を示すことができる。理由を示さないことは、廃棄の効力に影響を及ぼすも	締約国は、国際連合事務総長にあてた書面による通告を行うことによりこの条約を廃棄することができ	第三百十七条 廃棄	\$	5の規定により改正が効力を生じた後にこの条約の締約国となる国は、改正された条約の締約国とされ	書の寄託の後一年で、すべての締約国について効力を生ずる。	、深海底における活動のみに関する改正及び附属書Mの改正は、締約国の四分の三による批准書又は加入	されていない条約の締約国とされる。	(1)改正された条約の締約国とされ、かつ、(1)改正によって拘束されない締約国との関係においては、改正	1の規定により改正が効力を生じた後にこの条約の締約国となる国は、別段の意思を表明しない限り、	約国については、改正は、その批准書又は加入書の斎話の日の後三十日目の日に対力を生する。	必要とされる数の批准書	とを定めることができる。	改正については、その効力発生のためにこの条に定める数よりも多い数の批准又は加入を必要とするこ	行することに影響を及ぼすものではない。	※「 「 ご ご ご ご ご ご ご ご ご ご ご ご ご ご ご ご ご ご

廃

棄

obligations under this Convention. by other States Parties of their rights or the performance of their Parties, whichever is greater. Such amendments shall not affect the enjoyment ratification or accession by two thirds of the States Parties or by 60 States

this article. An amendment may provide that a larger number of ratifications or accessions shall be required for its entry into force than are required by

accession. thirtieth day following the deposit of its instrument of ratification or to in paragraph 1 after the deposit of the required number of instruments of ratification or accession, the amendment shall enter into force on the . For each State Party ratifying or acceding to an amendment referred

expression of a different intention by that State: into force of an amendment in accordance with paragraph 1 shall, failing an 4. A State which becomes a Party to this Convention after the entry

(a) be considered as a Party to this Convention as so amended; and

<u></u> be considered as a Party to the unamended Convention in relation to any State Party not bound by the amendment.

fourths of the States Parties. amendment to Annex VI shall enter into force for all States Parties one year following the deposit of instruments of ratification or accession by three ۰ י Any amendment relating exclusively to activities in the Area and any

a Party to this Convention as so amended. 6. A State which becomes a Party to this Convention after the entry into force of amendments in accordance with paragraph 5 shall be considered as

#### Article 317 Denunciation

after the date of receipt of the notification, unless the notification validity of the denunciation. indicate its reasons. Failure to indicate reasons shall not affect the A State Party may, by written notification addressed to the Secretary-General of the United Nations, denounce this Convention and may specifies a later date. The denunciation shall take effect one year

prior to its termination for that State. to this Convention, nor shall the denunciation affect any right, obligation or legal situation of that State created through the execution of this Convention A State shall not be discharged by reason of the denunciation from the financial and contractual obligations which accrued while it was a Party

be subject under international law independently of this Convention. 3. The denunciation shall not in any way affect the duty of any State Party to fulfil any obligation embodied in this Convention to which it would

Article 318 Status of Annexes

一二〇九

玉
連
海
洋
法
条
約

_	
$\overline{o}$	
0	

The Annexes form an integral part of this Convention and, unless expressly provided otherwise, a reference to this Convention of to one of its Parts includes a reference to the Annexes relating thereto. <u>Article 319</u> <u>Depositary</u>

 The Secretary-General of the United Nations shall be the depositary of this Convention and amendments thereto.

 In addition to his functions as depositary, the Secretary-General shall;

- (a) report to all States Parties, the Authority and competent international organizations on issues of a general nature that have arisen with respect to this Convention;
- (b) notify the Authority of ratifications and formal confirmations of and accessions to this Convention and amendments thereto, as vall as of demunciations of this Convention)
- (c) notify States Parties of agreements in accordance with article 311, paragraph 4;
- (d) circulate amendments adopted in accordance with this Convention to States Parties for ratification or accession;
- (e) convene necessary meetings of States Parties in accordance with this Convention.
- (a) The Secretary-General shall also transmit to the observers referred to in article 156:
- (1) reports referred to in paragraph 2(a);
- (ii) notifications referred to in paragraph 2(b) and (c); and
- (111) texts of amendments referred to in paragraph 2(d), for their information.
- (b) The Secretary-General shall also invite those observers to participate as observers at meetings of States Parties referred to in paragraph 2(e).

#### Article 320 Authentic texts

The original of this Convention, of which the Arabic, Chinese, English, Prench, Russian and Spanish texts are equally authentic, shall, subject to article 305. paragraph 2, be deposited with the Secretary-General of the United Nations.

IN WITNESS WHEREOF, the undersigned Plenipotentiaries, being duly authorized thereto, have signed this Convention.

国連海洋法条約

DONE AT MONTEGO BAY, this tenth day of December, one thousand nine hundred and eighty-two.

千九百八十二年十二月十日にモンテゴ・ベイで作成した。